

# 社会科 授業改善推進プラン

## 1 学力効果測定結果

- ・令和4年度は、全学年が全観点の育成が十分でなく、特に第6学年については、目標値を大きく下回り、定着度が極めて振るわなかった。過去3年間この傾向は変わらない。
- ・第6学年の平均正答率は目標値と比べ全観点で極めて低く、第5学年時の低い状態からさらに落ち込んだ。第5学年の落ち込みもあり、知識・技能の活用が図れていない。
- ・単一のグラフや表から内容を理解し、傾向を探る読み取りの力がどの学年も十分に育成できていない。

## 2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号や、東京都の地図における大田区の位置など、地域の学習において基本的な事項が十分に身に付いていない。</li> <li>・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る力を身に付けていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県名とその位置が定着していない。</li> <li>・特色のある位置や自然環境、人々の活用や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動には意欲的に取り組むが、そのことから考察して、知識が定着することにつながらない。</li> <li>・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取り、考察する力を養う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動には意欲的に取り組むが、そのことから考察したり、知識を定着させたりすることに意欲をもてていない。</li> <li>・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取り、考察することが苦手。</li> </ul>

## 3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本の活用</li> <li>・地図記号の学習において、確実に暗記する手助けとなるように、記号の成り立ちや意味を解説しながら授業をする。</li> <li>・授業で資料を扱う際に、情報を読み取るための視点与え、学習内容を理解できるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本の活用</li> <li>・都道府県のフラッシュカードを活用し、日常から都道府県名に親しませる。その際、方位や地図上の位置を確認する。</li> <li>・各単元の終わりにリーフレットを作成させ、その社会的事象の特色や相互の関連についての理解を確実にさせるとともに、理解したことをまとめる技能を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の徹底活用</li> <li>・授業で地図や統計などの基本的資料を扱う際に、情報を読み取るための視点与え、学習内容を理解できるように支援する。</li> <li>・知識が定着するように、復習プリントを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の徹底活用</li> <li>・単元毎に重要な用語を意識的に使って学習内容をまとめさせる。</li> <li>・ICTを活用し、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・学習したことを教室に掲示し、単元の復習ができるようにする。</li> </ul>
思考・判断・表現			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大田区の古い建物」、「昔の道具」についてなど、テーマを決めて調べ学習をする機会を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を支える施設がなぜあるのか、また自分の暮らしにどのように関係しているのかを考えさせることで、社会にみられる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を通して知った情報から自分なり考察をまとめ、交流する時間を確保する。</li> <li>・さまざまな表現方法を体験できるように、新聞やポスター、タブレットなどを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を通して知った情報から自分なり考察をまとめ、交流する時間を確保する。</li> <li>・多様な表現方法に触れさせ、他者が理解しやすい工夫をさせる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と関連付けて学習事項を捉えられるように、学区内にある商店や工場、消防設備などを調べる学習を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童らの日常生活の経験と結び付けて導入を行うとともに、見通しとゴールイメージを持たせることで主体性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組めるように、「どうして」「調べたい」と思えるような導入の工夫や、児童がまとめ方や授業展開を選択できるような学習活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組めるように、関連資料を提示するなど興味関心をもたせる導入や、調べ方や発表方法が選択できる学習活動を行う。</li> </ul>

※太枠内は、特に重視する内容